

# 日本放送協会 理事会議事録

(平成29年 9月 5日開催分)

平成29年 9月22日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成29年 9月 5日(火) 午前9時00分～9時05分

<出席者>

上田会長、堂元副会長、木田専務理事、坂本専務理事、  
児野専務理事・技師長、根本理事、松原理事、荒木理事、黄木理事、  
大橋理事、菅理事、中田理事、今井特別主幹  
高橋監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

上田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

## 1 審議事項

(1) 第1290回経営委員会付議事項について

## 2 報告事項

(1) 新奈良放送会館の基本設計について

議事経過

## 1 審議事項

### (1) 第1290回経営委員会付議事項について

(経営企画局)

9月12日開催の第1290回経営委員会に付議する事項について、審議をお願いします。

付議事項は、報告事項として「平成29年度後半期の国内放送番組の編成について」と「平成29年度後半期の国際放送番組の編成について」です。

(会 長)           ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

## 2 報告事項

### (1) 新奈良放送会館の基本設計について

(技術局)

新奈良放送会館については、平成28年6月7日の理事会、および6月14日の第1262回経営委員会で整備方針・概要の決定を受けて、基本設計を進めてきましたが、このたび、設計の概要がまとまりましたので、報告します。

新放送会館の敷地面積は3,417㎡です。延べ床面積は約4,500㎡で、地上4階の建物ですが、主要機能は1階から3階にほぼ収まっています。建物の高さは約22m、鉄塔の高さは地上約59mになります。建設地は近鉄新大宮駅から徒歩約10分で、奈良県等が実施する「大宮通り新ホテル・交流拠点事業」の敷地の中にあります。敷地の北側には、国際級のホテルが開業する予定であり、また、奈良県が交流拠点施設として、国際会議場を備えたコンベンション施設、屋外多目的広場、観光振興施設、屋内多目的広場、駐車場、バスターミナル、南北をつなぐ道路を整備する計画です。

新放送会館の建物の主な特徴は、次の4点です。

1点目は、「歴史・文化の発信拠点という役割」です。校倉造りを想起させる水平基調の外観で、隣接街区と調和したデザインとしており、1階のハートプラザでは、スーパーハイビジョンで情報を発信します。

2点目は、「地域に開かれた放送局」です。ハートプラザは北側の屋外広場に面し、隣接街区と一体的な空間とします。天井も極力高くとり、開放的な雰囲気をつくります。また、西側の通り抜け空間には、ポスターケースを配置します。

3点目は、「災害に強い放送局」です。建物下部に揺れを吸収する免振装置を配備するとともに、外構には液状化対策も行います。また、非常時のトイレ用水・排水槽を確保します。道路と北側屋外広場の位置から建物は西に寄せ、敷地形状と同様に細長い建物形状とし、2方向の車両

動線を確保します。

4点目は、「高い省エネ性とフレキシビリティをもつ放送局」です。太陽光発電と外気を積極的に利用した空調を行います。また、倉庫やラック室などをまとめて配置するなど空間の有効利用も図る予定です。

今後のスケジュールについては、今回の基本設計を基に詳細設計を行い、30年5月（事前準備工事は4月）に着工し、31年9月に建物を完成させる予定です。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成29年 9月19日

会 長 上 田 良 一